教科横断型授業「生物」×「英語」
学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号（ 14 番）「 海の豊かさを守ろう 」 SDGsの番号（ 15 番）「 陸の豊かさを守ろう 」
実社会での課題	生物多様性によって私たちは莫大な恩恵を享受している。しかし、約 100 万種が現在、絶滅の危機に直面しており、その速度は過去 1000 万年の平均の数十倍から数百倍であり、生物多様性は急激な速度で失われている。
生徒に身に付けさせたい資質･能力	目の前にある一つ一つのものがいかに生物多様性の恩恵の上に成り立っており、影響を与えているのか、想像を働かせ、その関係に自覚的になる。また、より生物多様性に配慮した行動をすることで、生物多様性への悪影響を低減し、さらにポジティブな影響を与えていくことを考えさせる。
主題（教材）	Lesson15 The Immortal Jellyfish（『Big Dipper』数研出版）

指導過程		学習活動	時間	指導上の留意事項	資料等
	導入	Small Talk	5	・英語を使う雰囲気を作る。	
	展開	1 本文内容を復習する。 （1）音読活動 （2）英問英答	10	・内容を意識しながら読ませる。 ・本課の要点をおさえさせる。	パソコン プロジェクタ タブレット
		2 最新のベニクラゲ研究について学ぶ。	5	・生物基礎、生物での既習事項の「細胞の分化」「遺伝子の複製」と関連付けをさせる。	
		3 私たちの生活と生物との関わりについて考える。	25	・例を提示して、円滑に活動をさせる。 ・生物の特性に着目させるとともに、想像力を働かせながら考えさせる。 ・班員と協力して活動するよう促す。	カード
	整理	生物多様性を守るために自分自身ができることを考える。	5	・多様な生物の素晴らしさを感じながら、他を愛し、尊重する生き方を考えさせる。	
備考		生徒数７名			